

2021年3月  
第27号

2021年3月31日発行

朝鮮学校無償化実現・福岡連絡協議会  
— 朝鮮学校無償化裁判を支援する会 —

# 미래·ミシ通信

ミシとは未来という意味

事務局 ・ 北九州 〒807-0825 北九州市八幡西区折尾3-5-1  
九州朝鮮中高級学校内  
TEL 093-691-4431 / FAX 093-691-4441

・ 福岡 〒812-0044 福岡市博多区千代4-29-50-6階  
福岡県朝鮮学校を支援する会  
TEL 092-633-3745 / FAX 092-633-3310

http://msk-f.net  
mail : info@msk-f.net

## 目次:

高校無償化即時適用実現  
全国統一行動に連帯する  
福岡県民集会 1

生徒の皆さんへ  
一今、思うこと一  
弁護士 安元 隆治 3

高報部卒業式・写真 4



## 高校無償化即時適用実現全国統一行動に連帯する福岡県民集会 朝鮮学園支援全国ネット「行動月間」に伴い

### ■ 今後の闘いに向けた意思統一の場

「高校無償化即時適用実現全国統一行動に連帯する福岡県民集会」が2月13日(土)、北九州市の北九州市立商工貿易会館で行われ、日本の支援者や九州中高の生徒と教員、保護者をはじめとする在日同胞ら約150人が参加した。

集会は、「朝鮮学園を支援する全国ネットワーク」が朝鮮学校を支援する各地の支援団体へ「全国行動月間」として呼び掛けた行動提起に呼応したもの。「全国行動月間」は、日本政府が省令「改正」により朝鮮高校を高校無償化の対象から除外した2013年2月20日に際し、2015年以降各地で毎年行われてきた。

はじめに、主催者あいさつと基調報告を当会の**瑞木実事務局長**が行った。



瑞木事務局長は、高校無償化制度が施行され10年、裁判闘争が始まり7年、現在最高裁へ上告中にある九州無償化裁判の運動過程を振り返りながら、「ここ10数年来、日本政府による民族教育への差別政策が激しくなっている。『国民の理解が得られない』という自分たちに都合のいい理由で朝鮮高校を無償化対象から外し、2019年には幼保無償化からも朝鮮幼稚園など外国人学校幼稚園を除外した。さらにコロナ禍での学生に対する救済策となる給付金制度からも朝鮮大学校を除外するに至った。これらの

根底にあるのは日本政府や地方自治体の朝鮮学校つぶし、民族教育つぶしに他ならない」と指摘。そのうえで、「今日の集會を今後の闘いに向けた意思統一の場にしたい」とその意義を強調した。

また基調報告では、九州無償化弁護団で弁護団長を務め、「朝鮮学校を支える会・北九州」でも代表を務めるなど、生前、弁護士そして一市民として九州地域の朝鮮学校に寄り添い続けた**服部弘昭さん**が、昨年9月20日に他界したことが報告されたほか、裁判闘争を通じ生まれた連帯の成果として①九州・山口5つの朝鮮学校支援団体からなる5者会議が構成(2016年～)されたこと、②2019年3月14日の1審判決以降に始まった毎月第2木曜の街頭宣伝などがあげられた。

瑞木事務局長は、今後、最高裁上告勝利に向けた取り組みとして、九州同様に上告中にある広島訴訟団など各地支援団体との連携強化、支援者拡大のための広報活動、マスコミや国会・地方議員への働きかけをおこなうこと、また中長期的な取り組みとして、民族教育擁護を目的としながら裁判闘争の経験を糧にした関係者らの連携強化、地方自治体への定期的な働きかけなどを行っていくとした。

### ■ 再確認した在日朝鮮人への差別

つづいて、弁護団報告を**安元隆治**弁

# 미래·ミレ通信

ミレとは未来という意味

護士が行った。

安元弁護士は、各地5カ所で行われてきた裁判で、大阪地裁を除くすべての裁判所が原告敗訴の判決を下したことに「弁護士として力の足りなさを感じる」と胸の内を明かしながら「なんでこんな判決になるのかというのが率直な感想だ。学びたい生徒に経済的支援を行おうというのが制度本来の趣旨にも関わらず、在日朝鮮人に対する差別という形で制度が用いられていることは許し難いことだ」と改めてその不当性を訴えた。



九州無償化裁判では、昨年10月30日、福岡高裁が、朝鮮高校を無償化の対象外とした文部科学大臣の判断は「裁量の範囲を逸脱、濫用しておらず、適用根拠となる規定ハ削除の違法性についても「判断する必要がない」として、1審判決(2019年3月14日)を支持。原告側の請求を全面棄却している。これを受け、弁護士団では同年11月11日付で最高裁へ上告。今年1月に上告理由書面を提出した。

安元弁護士は、一連の不当判決に対し「実際に生の事実を見ないまま結論づける。そのような世の中の風潮がそのまま判決文に反映された」と警鐘を鳴らす。そのうえで「現場を見もせず何が適法なのか。司法がどう判断しようが、これが在日朝鮮人に対する差別であることは間違いない」と言及した。

また同氏は、裁判闘争が最終局面を迎えるいま、幼保無償化やコロナ禍での学生給付金、一昨年にあった折尾駅前でのヘイトスピーチ事件など、現在進行形の諸問題について引き続き弁護士団がその役割を果たしていくことを強調する一方で、「朝鮮学校に携わることで感じた朝鮮学校の良さを一人でも多くの人に知ってもらいたい」と、学校教育の良さを発信する方法についても考えていきたいと述べた。

次に、生徒を代表して九州中高高級部2年の都滉世さんが登壇した。

「思い返せば僕は、ずっと先輩たちの背中を見てきました」

自身が初級部の頃に始まった裁判と、中級部3年時にみた差別を追認する地裁、そして昨 year 高級部生として経験した高裁での不当判決。それらの現場には、頼もしい朝高生の先輩たちがいたと都さんはいう。



都さんは「ウリハッキョは朝鮮人として、格好良く生きる術を教えてくれる場所。そして先輩たちがみせてくれた背中を、次は自分が後輩たちにみせたい」と、今後も続く民族教育擁護運動への決意を新たにした。

裁判が始まった2013年当時、朝高生だった九州中高教員の余信徹さんは「教員として母校に帰ってきて再びこの問題に向き合っている。あの頃から今日まで何度も全身が震えるほどのくやしさと怒りを覚えた」と話す。



余さんは「高校無償化からの朝鮮高校除外は、過去の植民地支配の歴史を否定し、私たち朝鮮人の存在を排除しようという日本政府の考えそのものだ」と訴えながら、「たった3年しかない貴重な高校生活の時間を、裁判闘争に費やさせてしまっていることが、学びの場を提供する一人の大人として、朝高の卒業生として後輩たちに本当に申し訳ないと感じている。しかしこの現状で私たちが声をあげない、ということはできない」と力を込める。

「声をあげ行動し、この問題の不当性を世に訴え続けることで支援の輪が広がった。もし声を上げ続けなかったら、ここまで多くの方々が問題を正しく認知できただろうか。私たちの主張が正しいというのはこの連帯の事実が証明して

いる。生徒たちに異国の地でも朝鮮人として生きることの素晴らしさを示すためにも勝利の日まで闘いつづけたい」

その他にも九州中高オモニ会の安玉喜会長、福岡県日朝友好協会の上村和男事務局長、福岡県議会の佐々木允議員、北九州市議会の小宮けい子議員が連帯メッセージを述べた。

## 力強い連帯の力で勝利を

一方、集会では、幼保無償化制度と朝鮮幼稚園など適用対象外となった施設に対する日本政府の「新たな支援策」について、清田美喜、朴憲浩両弁護士が説明した。



閉会に先立ち、集会アピールが採択された。

アピール文では、すべての子どもたちの学ぶ権利のために、▼高校無償化即時適用実現、▼上告審勝利、▼外国人学校幼稚園にも幼保無償化適用を求め、朝・日の市民らが共に闘っていかうという決意が示された。



最後に、参加者たちは、福岡県教協議長の本村隆幸さんの団結ガンバローに合わせて、シュプレヒコールを叫び閉会した。

(了)

※本記事は朝鮮新報社了承の元、朝鮮新報に掲載された記事を元に記載されています。

2021年3月

## 生徒の皆さんへ

— 今、思うこと —

弁護士 安元 隆治

九州中高の生徒の皆さんへ

**1** 朝鮮学校への高校無償化制度の適用を巡る裁判は1、2審とも不当判決だった。10月30日に上告し、1月12日に主張書面を最高裁に提出した。

子どもは大人一般に対し「自分に学ばせろ」と求める権利を持つ。民族教育も同じ。皆さんは国に対し民族教育を受けさせる(教育できないなら金を出せ)と求める権利を持つ。

1、2審判決は理解できないが、弁護士の力不足も謝罪したい。

最高裁に伝えるべきことは伝えた。結果を待つ。詳細は「朝鮮学校無償化裁判を支援する会」のHPに書面があるので見てほしい。

**2** 「朝鮮学校には日本の学校にはない「いい空気」がある」。朝鮮学校を訪れた多くの日本人が語る言葉である。大人の戯言と思うだろうが、僕も感じる。

上告を終え法的議論がひと段落ついた今、この「いい空気」の正体が何かといつも考える。

弁護士駆け出しの頃、市内の小中高校にキャリア教育(弁護士の仕事を説明する)で何度か行った。キャリア教育は良いが、そこで感じる学校の空気は最悪だった。大規模校になるほど軍隊のようで、行く度に胸がそ悪くなった。

僕が朝鮮学校の裁判に7年以上関わったのは、この時感じた「学校って何?」という問いに、折尾の朝鮮学校が一定の答えを示すからだと思う。

**3** 先日、友人の金敏寛君と酒を呑んだ

安元 「日本の学校は先生が生徒を規律するまで軍隊だ。朝鮮学校は生徒と先生との関係が自然で、生徒が個人として自律している」

金 「朝鮮学校の生徒たちは皆で団結して進める力は凄い。だが日本の学校の方が個人が強い印象だ」

安元・金 「!??」

このやりとりが何かは正直なところよく分からない(笑)。僕らは異床同夢なのかもしれない。

ただ一つ。自律を感じる要因として、

朝鮮学校では「教師と生徒」という関係以前に、「同胞の仲間」として生徒は先生を、先生は生徒を「人として尊重する」関係があると思う。生徒も先生も学校に受け容れられている。これは今、きっと多くの日本の学校で失われている。



**4** 大人はいつも何かを子どもに押し付ける。朝鮮学校も僕も同じだろう。

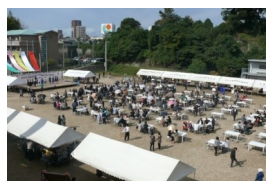
ただ、大切なのは「主役は子ども」という根本である。報道されているブラック校則など論外である。

皆さんは一度「子どもの権利条約」を読んでみてほしい。なぜ自分が主役かの基本が書いてある。

朝鮮学校を無償化制度から除外した日本の対応がいかにもクレイジーかもわかるだろう。

ちなみに朝鮮民主主義人民共和国は、民主主義を自称する日本よりも早く子どもの権利条約に批准した国である。

僕の考えはまだまとまらない。ただ、自律した主役を支える脇役として、今後も朝鮮学校に関わりたい。



## 会費(カンパ)のお知らせ

### ■会費(カンパ)のお願い

本会の趣旨に賛同いただき会費(カンパ)のご協力をお願いいたします。

- 団体会費 一口 5,000円
- 個人会費 一口 1,000円

これまでのご協力に厚くお礼申し上げますと共に、朝鮮学校への広範な支援の為には、これからも継続的なご協力を呼びかけていきたいと思っております。皆様の暖かいご支援をお待ちしています。

### ■ 郵便振込の場合

01750-7-164454

朝鮮学校無償化実現・福岡連絡協議会

### ■ 銀行振込の場合

福岡銀行折尾支店(普)2988609

朝鮮学校無償化実現福岡連絡協議会 事務局 ユン キョンリョン

### ■ 労働金庫振込の場合

九州労働金庫福岡県庁前支店(普)6713577

朝鮮学校無償化実現福岡連絡協議会 事務局員 前海満広

すべての子どもには学びへの権利があります！

# 九州朝鮮中高級学校 卒業式

